

歴史的風致形成建造物概要

指定番号	4
指定年月日	令和7年1月14日
重点区域	総社及び総社山王地区
名称	都丸賀津夫家（主屋）
所在地	総社町総社2427番地ほか
内容	明治10年頃に建造された養蚕農家で、大正時代には一時期蚕種業を営み、以降は昭和48年まで養蚕業を営んでいた。「テンソウ」（天窓）が設けられ、2階軒は船柵造り、2階床は出梁造り、敷地北側に大きな檜ぐねが配置されることで、養蚕農家の特徴が随所に見られる。外壁仕上げの一部が押縁下見板、2階建具に杉板が使用され、鉄製持ち送りが南面に施されていることで、落ち着いたある養蚕農家の風情が感じられる。内部には土間、かまど、欄間が残され、養蚕農家が持つ歴史的風致が保たれている。

建造物について

建造年	明治10年（1877年）ごろ、大正8年（1919年）ごろ増築	
構造	木造2階建	
用途	養蚕農家	
外装仕上げ	屋根	鉄板瓦棒、日本瓦（天窓のみ）
	外壁	土壁、押縁下見板、漆喰（真壁）、サイディング、トタン波板
特筆すべき附属建物等	物置（旧桑屋）、物置（旧マッシュルーム小屋）、檜ぐね	

案内図

